

- 1. はじめに
- 2. 実験結果
- 3. 実験結果
- 4. 課題
- 7. まとめ

## 進捗報告

辻 琉玖

Ruku Tsuji

u220039@st.pu-toyama.ac.jp

富山県立大学 工学部 情報システム工学科

13:10-14:50, Tuesday, April 15, 2025  
N516, Toyama Prefectural University

## 目的

- 実際に動かしておかしいところを探す.
- なぜそのような結果になるかを考える.

# 実験結果 1

3/6

## 結果

- アレルギーや抜いてほしい食材を選択したら、ちゃんと抜いてくれるように修正した。図 1 では、「乳」が成分として含まれているものを抜いている。
- 図では一つだけだが、複数選択した場合でも抜いてくれる。

## 結果

```
[5 rows x 27 columns]
乳が含まれるレシピ番号
[17, 18, 37, 42, 43, 44, 46, 51, 65, 82, 82, 93, 93, 93, 93, 93, 110, 110, 110, 115, 119, 120, 133, 13
4, 137, 137, 147, 158, 158, 158, 160, 160, 164, 167, 167, 167, 167, 175, 175, 186, 186, 189, 195, 195,
202, 207, 207, 207, 207, 209, 210, 215, 215, 218, 220, 220, 224, 224, 229, 231, 232, 234, 236, 2
36, 243, 251, 264, 269, 269, 269, 282, 299, 301, 308, 315, 315, 315, 317, 320, 324, 337, 340, 373, 373
, 374, 374, 374, 381, 381, 389, 390, 391]
アレルギーが含まれるもの (重複削除)
59
[17, 18, 37, 42, 44, 46, 51, 65, 82, 93, 110, 115, 119, 120, 133, 134, 137, 147, 158, 164, 160, 164, 1
07, 175, 186, 189, 195, 202, 207, 209, 214, 215, 220, 224, 229, 231, 232, 234, 236, 243, 251, 264, 269
, 282, 299, 301, 308, 315, 317, 320, 324, 337, 340, 373, 374, 381, 389, 390, 391]
削除表はないです
レシピデータを生成します
アレルギーを削除した後のレシピデータ:
データ数:
341
1) ロード 完了
データ生成完了
```

図 1: 乳が入っているものを削除

## 結果

残された料理から、選ばれた献立の料理名と表示されたレシピナンバーが一致するように修正した。

1番目の献立が選ばれました  
選ばれた献立: ['はとと豆腐の煮物(かんたん)', '田楽', '牛肉とわかめのスープ', 'さわらのねぎみそ煮し', 'ブナドマトのチャールズ', 'ホウレン草とエノキ菜のお浸し', '天むす']  
選ばれたレシピにアレルギー食材が含まれていないか確認中...  
レシピ number: [5, 19, 30, 60, 86, 280, 372]

図 2: 選ばれた献立

- 1. はじめに
- 2. 実験結果
- 3. 実験結果
- 4. 課題
- 7. まとめ

いろいろ修正したため、選択した献立とそのレシピナンバーが表示された、以降の結果がでなくなりました。

1. はじめに
2. 実験結果
3. 実験結果
4. 課題
7. まとめ

```

519: print('レシボ化済み', (not for in number))
520:
521: # 文字列から辞書への変換
522: dft = {} # read_text('../data/data/batch.csv', encoding='utf8', unescape=True) # 文字列
523: # read_text('../data/data/batch.csv', encoding='utf8', unescape=True) # 辞書
524: # read_text('../data/data/batch.csv', encoding='utf8', unescape=True) # 辞書
525:
526: hase = dft['件名']-to_list()
527: rname = dft['レシボ化済み']-to_list()
528: gaisi = dft['品名']-to_list()
529:
530:
531: gaisi = []
532: hase = []
533:
534: # 下の2行が重要
535:
536: print('レシボ化済み品名から品名へ')
537: # print('レシボ化済み品名から品名へ')
538:
539: print('rnameから品名へ')
540: print('rnameから品名へ')
541:
542: # 辞書から辞書への変換
543: # print('辞書から辞書への変換')
544:
545: print('rnameから品名へ')
546: print('rnameから品名へ')
547:
548: print('gaisiから品名へ')
549: print('gaisiから品名へ')

```

**図 3:** CSV 書き込みのコード

[illegible]

図 4: . 確認用の print を追加した

## 今後すること

- 修正作業
- 今は Flask を使用しているが xampp でもできるか考慮してみようと思う
- 組み込みそうな論文・プログラムを survey しているが、まだ決め切れていないので続ける。